

新着輸入楽譜(2011年4月)

(2011年5月31日まで、輸入楽譜・書籍全在庫品から3冊以上のお買い上げで20%引きになります。入荷数の少ないものもありますのでご注文はお早めに。)

バリオスの新しい曲集

バリオスの楽譜は、自身の手稿譜からの物の外に、様々なソースから、また録音からのコピーを含めて出版されており、ストーヴァーの全集が出版されてもそれが完全な原典版となりうるかと言うと、そうとも言えない状況です。このセサル・アマロによる曲集は、プライベートなソース、コレクションからのもので、この形で出版されるのは初めてであり、新しいあるいはオリジナルな資料を含んでいる、と注意書きがあります。各曲に対するコメントや逸話はなかなか面白く読めます。

新・バリオス:ギターのための12の作品[アマロ校訂・運指・解説] 推薦 ¥4,725

蜜蜂(練習曲)(1921)/母の歌(ハバナラ) (1924) [S 全:ハバナラ]/大聖堂(聖なる二部作)(1921)/ * ささやかな貢献 / * 亡きインディオの女のロマンス(エステロ)(1927) / * 『グアラニの伝説』(1912)(序奏, アンダンテ, アダージョ, アレグロ) / ルイシート(1925) / マドレシータ! …(メヌエット)(1925) / 春のワルツ(1921) / ビダリータと変奏[S 全:ビダリータ](1925) / * 燃えた小屋(エステロ)(1925) / 夢の思い出(森に夢見る)(1919)
[S 全]はメル・ベイ社版ストーヴァーの全集での曲名です。*印の曲は前記全集には収められていません。

ペペ・ロメロ編集・編曲の楽譜

初・アルベニス:スペイン愛奏曲集[ペペ・ロメロ編曲] 推薦 ¥3,675

アストゥリアス/カディス(イ長調編曲)/コルドバ/入江のざわめき/セビーリャ

作曲者のアルベニスと、各曲に関係のある都市と曲の紹介が美しい銅版画とともに掲載されています。

グラナドス:スペイン舞曲 No.5『アンダルーサ』[2G][ペペ・ロメロ編曲] 推薦 ¥1,365

スコア/1st ギター譜/2nd ギター譜/ペペ・ロメロについて

グラナドスの『スペイン舞曲 No.5』の、今やソリストとしてもアンサンブル奏者としても巨匠の一人に数えられるペペ・ロメロによるギター二重奏編曲です。

初・サンズ:スペイン舞曲集[ペペ・ロメロ編曲] 推薦 ¥2,415

ババーナス/エスパニョレタ[No.1]/エスパニョレタ[No.2]/たいまつ踊り/フォリアス/ガリャルダ/ビチャーノ/サラバンダ/ルヘーロ/パラダタス/トルネオ/ナポリの生意気な娘/カタルーニャの娘/カナリオス

ソル:幻想曲(弟子のウゼ嬢に献呈された)[ペペ・ロメロ編] 推薦 ¥2,415

近年になって発見された作品。P.ロメロによって録音もされています。

バッハ:無伴奏ヴァイオリン・パルティータ No.2(二短調)BWV1004[ペペ・ロメロ編・編曲] 推薦 ¥2,835

アルマンド/クーラント/サラバンド/ジグ/シャコンヌ

バッハ:無伴奏チェロ組曲 No.3(二長調)BWV1009[ペペ・ロメロ編・編曲] 推薦 ¥2,415

プレリュード/アルマンド/クーラント/サラバンド/ブーレ/ジグ

初・ムダーラ:ルドピーコのハーブを模したファンタシア[ペペ・ロメロ編曲](ピウエラ・タブラチュア譜付き) ¥1,575

ディアンズ編曲《ピシギーニャ作品集》

ブラジル・ポピュラー音楽の歴史とともに歩んだ巨人フルート・サクソ奏者、作曲家ピシギーニャの名曲を演奏したディアンズによるCD『あの頃～ピシギーニャ作品集』(GSP1035CD ¥2,625 在庫あり)に準拠した曲集。

新・ピシギーニャ:作品集[ディアンズ編曲](ブラジルの巨匠の音楽) 推薦 ¥3,990

ソロンの偉業(ショーロ)/デスプレザード(ショーロ・カンソン)/バラ(ヴァルサ)/アテンシオーゾ(ショーロ)/無邪気(ショーロ・カンソン)/大笑い(ショティッシュ)/オスカーリーナ(ヴァルサ)/ラメント(ショーロ)/あの頃(ショーロ・セレナータ)/カリニョーゾ(ショーロ・カンソン)/1×0(ショーロ・ヴィーヴォ)

ファジル・サイ作曲 『プリンセス・オブ・リキア』【2G】

第4回 Hakuju・ギター・フェスタのために作曲されて荘村清志と福田進一により初演され、昨年も同フェスタで再演された、トルコのピアニスト・作曲家ファジル・サイによる『プリンセス・オブ・リキア』が出版されました。国内でも、もう既に様々なギタリストの組み合わせで演奏されており、ギター二重奏の定番の1曲となるのではないのでしょうか。

ファジル・サイは言わずと知れた1970年生まれ、トルコ出身の鬼才・天才ピアニストで、16歳で作曲した『Black Hymns』はベルリン建都750周年記念行事で演奏され、以来作曲家としても大変活躍しています。この作品は、序文によれば、サイはホメロスの『イーリアス』に出てくるリキアの王女を漠然と引用していますが、もっと一般的なロマンティックで超時間的なビジョン、即ち地中海の太陽の下の愛の夢とドラマを意図しているそうです。東洋風な旋律と様々なリズムによる伴奏による対話が交代で現れ、途中から6弦をミに下げることにより独特な和声的效果を生み出します。

新・サイ:プリンセス・オブ・リキア【2G】(2スコア) 推薦 ¥3,045

アルメイダの曲集

アルメイダ:ギター独奏曲選集[R.パーセル編](176ページ) ¥3,675

アルメイダ:オリジナル・ギター二重奏曲選集【2G】(スコア+パート譜) BS ¥2,835

ロス・アンジェルスの眺望(ノース・ハリウッド、サンセット・ブルバード、ラテン・クォーターズ、サン・ファン・カピストラーノ教会、ビヴァリー・ヒルズ、ハーバー・フリーウェイ)ノ間奏曲ノソレアレスノスペイン風セレナードノ華麗なマラゲーニャノヴィアンナ風に(ピシギーニャの思い出に)ノ陽気なタンゴ

アルメイダ編曲:ラテン・アメリカのギター二重奏曲選集 Vol.1【2G】(スコア+パート譜) BS ¥3,150

ジェフのために[Ch.バード編曲][Ch.バード]ノ郷愁[J.パロージ]ノ恋人たち[アーン]ノロマンティックな一葉[ウィルソン]ノファモソノ激しいキスノカリオカ[ナザレー]ノあの時代にノ愛情をこめてノささやくように[ヴィアンナ=ピシギーニャ]ノルペルシ[ミランダ]ノショーロ=鐘のひびき[Ch.バード編曲][ベルナンブーコ]ノブラジルの魂ノ左利きの=ショーロ[ニヤタリ]ノラ・クンパルシータ[ロドリゲス&コントゥルシ]ノ憂鬱な間奏曲[ボンセ]ノスペイン風タンゴ[アルベニス]

アルメイダ編曲:クラシックのギター二重奏曲選集【2G】(スコア+パート譜) 推薦 ¥2,940

デュエット BWV804(4つのデュエットより)ノ天にいますわれらの父よ(コラール前奏曲 BWV636)あるいは(教理問答書コラールBWV683)ノ『イギリス組曲 No.3』BWV808~クェラント(パッハ)ノ6つの有名なセレナード(ビゼー:スペインのセレナード『君の心を開け』、ドルドラ:セレナード、トセッリ:セレナード、シューベルト:セレナード、モシュコフスキー:セレナード Op.15-1、ドリゴ:セレナード)ノアヴェ・マリア(シューベルト)ノオペレッタ『学生王子』~セレナード(ロンバーグ)ノ組曲『くるみ割り人形』Op.71a~金米糖の踊りノ『四季』~舟歌 Op.37bis-6ノ『なつかしい土地の思い出』Op.42~メロディ(チャイコフスキー)ノワルツ Op.39-15(ブラームス)ノ美しきロスマリ(クライスラー)

原タイトルは“Anthology of Traditional Guitar Duets”。『金米糖の踊り』の1stギター・パートのみ4度高くチューニングした「レキントギター」あるいは「アルトギター」を使用。

新・アルメイダ作・編曲:ギター三重奏曲集[R.パーセル編]Vol.2【3G】(スコア+1st Gパート譜) 推薦 ¥2,835

ブラジリアンス 1(ディヴェルティメント)ノディスカントゥス(アルメイダ)ノブラジル民俗音楽組曲(シャンゴへの祈り、トアーダ、ショーロ・カリド、パラド=サンバ、パイオン、マルシャ・カリオカ)(ニヤタリ)

1st G以外のパート譜はインターネットによりダウンロードできます。

新・アルメイダ作・編曲:ギター三重奏曲集[R.パーセル編]Vol.3【3G】(スコア+1st Gパート譜) 推薦 ¥2,835

リオ・ラプソディ(リオ狂詩曲)(アルメイダ&ニヤタリ)ノフローラ(ナザレー)ノ肖像 Op.12(ピシギーニャ、エルネスト・ナザレー、アナクレト・メデイロス、シキーニャ・ゴンザーガ)(ニヤタリ)

1st G以外のパート譜はインターネットによりダウンロードできます。

新・アルメイダ:ロサンジェルスの水彩画・組曲[R.パーセル編]【4G】(スコア+1st Gパート譜) ¥2,835

ノース・ハリウッドノサンセット・ブルバードノラテン・クォーターズノサン・フェルナンド・ミッションノビヴァリー・ヒル

ズノハーバー・フリーウェイ

1st G 以外のパート譜はインターネットによりダウンロードできます。

新・アルメイダ編曲:クラリネットとギターのための二重奏曲集[R.パーセル編][Cl in A,G](スコア+ギター・パート譜) ¥2,100

アラベスク No.1(『2つのアラベスク』より)ノダンス(ドビュッシー)

クラリネット・パート譜はインターネットによりダウンロードできます。

アンリ・ルモワーズ出版社 (HL)

イルマル:バーデン・ジャズ組曲[ミクルカ運指](ウラディミル・ミクルカが贈る・・・) BS ¥1,995

シンプリシタスノ子守歌ノサンバ風ロンド

言わずと知れたイルマルの大ヒット曲。

イルマル:サンバ・カーニヴァル[2G](スコア+パート譜)(ウラディミル・ミクルカが贈る・・・) ¥2,625

初・ゲラ:道(2つのギターのための組曲)[2G](スコア+パート譜)(セルジオ・アサド・コレクション) ¥4,410

グアテケ(ザパテオ・クパーノ)ノコンパイノウェミレレ(オリシャの祭り)ノソル通り(グアグアンコ)ノボレロ

「コンパイ」は2003年に95歳で亡くなったキューバの歌手・ギタリストで、CD『ブエナ・ピスタ・ソシアル・クラブ』(グラミー賞受賞)や同名の映画で世界的に有名なコンパイ・セグンド(本名:フランシスコ・レピラード)へのトリビュート。

初・ゲラ:出会いと3人の会話[2G,Cl](スコア+パート譜)(セルジオ・アサド・コレクション) ¥2,835

ディアンス:タンゴ・アン・スカイ BS ¥1,155

ディアンス:天使のワルツ(2005) ¥1,365

ディアンス:メリッサの子守歌(Lulla by Melissa)(2004) ¥1,365

ディアンス編曲:私の編曲集 BS ¥3,045

マズルカ Op.68-4 / 2つのワルツ(遺作)Op.69-1&2(ショパン)ノエル・チョクロ(タンゴ)(ビジョルド)ノラウンド・ミッドナイト(モンク)ノグノシエンヌ No.1(サティ)ノ無関心(ヴァルス・ミュゼット)(コロンボ&ムレーナ)ノヌアージュ(雲)(ラインハルト)ノフェリシダージ(モラエス&ジョビン)

タイトルは直訳すると「合意の上の私の編曲集」となるのですが、楽譜の表紙に書かれた日本語訳は「そと、ぼくらの、アレンジメント」となっており、またGG社では「出会いの編曲集」と訳しています。しかし、2000年に出された彼の作品カタログの解説によると、著作権の存在する作品を収録するために権利出版社と交渉して、やっと出来上がったためこの題名がついたようです。ディアンスらしい独特なアレンジです。

新・ブホール:カンディンスキーの1枚のスケッチによる3つのエッセイ ¥1,995

プレスト~アレグレット~プレストノアンダンテノアレグロ

カルロス・ベレスに捧げられた作品。

ブホール:2つのカンドンベロの調べ[F,G](スコア+パート譜) ¥3,255

ブエノス・アイレスの雲ノ良き時代のカンドンベ

新・ブホール:3つの周縁の小品[F,G](スコア+パート譜) ¥2,625

小集落(アレグレット=テンポ・ディ・タンゴ)ノ未開墾の地(アンダンテ)ノ牧場(アレグロ・カンドンベ)

ペレイラ(ペフェイラ):5つのブラジルの小品(S.アサド・コレクション) BS ¥2,625

都会風サンバノジュリアナのショーロノ疲れたバイオンノラサラノピザイン(フレヴォ)

オルフェ出版社 (EO)

オフィー編:モア・タンゴ・ミロンガ・ハバナラ(全34曲)(序文:アナリア・レゴ,7ページ) 推薦 ¥3,990

ラ・クバーナ(ダンサ・アメリカーナ)(アルカス)ノアンティリャーナ(ハバナラ)(プラト)ノエル・アンダールス(タンゴ・クラシコ)ノ騒ぎ立てる男(タンゴ・クリオージョ)ノドン・フリオ(同)(サグレラス)ノアルメノンヴィーজে(タンゴ・ブリジャンテ)(マグリオ~アレナス)ノ7つの言葉(ラディサーニ~アレナス)ノ大きな人形へ(タンゴ)(ベントウーラ~アレナス)ノカナロノ激流(マルティネス~アレナス)ノおどけ者(トンブソン~アレナス)ノ13(タンゴ・クリオージョ)

ヨ) (スパトラ～アレナス) / 奥地の人 (ブラジル風タンゴ) (アルヴァレス～シノポリ) / クスコの少年 (タンゴ) (グレコ～シノポリ) / 宿命のタンゴ (ビダル～フォルテア) / デ・ラ・ラサ (ミロンガ) / 私の小屋も雨が漏る! (タンゴ) (モラレス) / 岩山の間に (コロンビアのパンブーコ) / カスタ・パロマ (同) (ディアス・ロメロ編曲) / 忘却の杯 (タンゴ・カンシオン) (デルフィーノ～D.ガルシア) / 桃源郷 (シノポリ) / 強風ですごい埃だ! (キハーノ) / お前が私を愛してくれた時には (フェラサーノ = ポジェーロ～イパラギーレ) / 孤児 (アイエタ～イパラギーレ) / 私のとりこになった女 (ホセ・ロドリゲス～イパラギーレ) / スフラ / 古き時代 (カナロ～イパラギーレ) / 私の愛する人の子 (オヨス～イパラギーレ) / ダンサ・クバーナ / 孤独な君に (ハパネラ) [2G] (スプレアフィコ) / ひさし (タンゴ・パイウエラーノ) (マグリオ～ルナ) / セレナーデ (タンゴ・ミロンガ) (ビジョルド～ポーノ) / 俗謡 Op.1 (ミロンガ) (アレナス)

カナロ, ビジョルド, マグリオ, マルティネス, グレコ, デルフィーノ, アイエタ他の有名作曲家の作品を, アレナス, シノポリ, イパラギーレなどギタリストが編曲したものと, ギタリスト・作曲家の作品を集めています。

ブホール: タンゴ, ミロンガと終曲 (1979) [2G] (スコア + パート譜) 推薦 ¥3,045

4月のタンゴ / 6月のミロンガ / 幸福な終曲

プラト編曲: ガルディア・ビエハのタンゴ [グロセール序文, オフィー編] 推薦 ¥2,100

デ・プーラ・セーパ (= 純粋な株) / エル・コンピンチェ (= 仲間) / ノーチェ・デ・ファーラ (= お祭り騒ぎの夜) / アルガニヤラス (以上フィルポ) / ガルーファの一夜 (アローラス) / ラ・パヤンカ (ベルト) / エル・イレシステイーブレ (ロガーティ) / わが悲しみの夜 (カストリオータ) / ホアキーナ (ベルガミーノ) / 2つの火の間に (ブチャルド) / レ = ファ = シ (デルフィーノ)

「ラ・ガルディア・ビエハ」とは「古い衛兵 伝統を守るもの」の意で, おおよそ 1866～1920 年間の古典タンゴを指します。巨匠フィルポやアローラス等のタンゴを, プラトは見事にギター曲に仕上げています。

ミランダ: アパッションータ [ザノン編・運指] 推薦 ¥2,415

ロナルド・ミランダは 1948 年にリオデジャネイロで生まれた作曲家で, 国内ばかりでなくヨーロッパでも作品が演奏されています。この曲は 1984 年に作曲された彼の初めてのギター作品で, “Lirico” と記された緩徐な部分をはさみながら常動曲風に進行するパワフルな作品です。

ラヴェル: 亡き王女のためのパヴァーヌ [ディアンス編曲] BS ¥1,260

初・ローリドセン: ディレイトン (Dirait-on) [4G] [テナント編曲] (スコア + パート譜) ¥3,150

アメリカの作曲家ローリドセン (1943～) 作曲の, リルケの詩『薔薇』による合唱曲集『バラの歌 (Les Chansons des Roses)』の最終楽章が原曲です。この曲は『O Magnum Mysterium』とともに, 彼の作品中最も演奏され, 録音されているものだそうです。LAGQ の CD『エアー & グラウンド』に収録されています。

カール・フィッシャー (CF)

ヤナーチェク: 草かげの小道にて・第1集 [プレスニック編曲, D.ワグナー編・運指] ¥3,150

我らのタベ / 落ち葉 / 一緒においで / フリーデックの聖母マリア / 彼らはつばめのようにしゃべりたてた / 言葉もなく / おやすみ / こんなにひどくおびえて / 涙ながらに / みみずくは飛び去らなかつた

再評価著しいチェコの作曲家ヤナーチェクのピアノ作品で, 故郷ラッシュ地方で過ごした幼年期の体験や思い出を様々な表題をつけて書いた第1集 (10曲) と無表題の第2集 (5曲) からなっています。シューマンやムソルグスキーの影響を残しながらも, 作曲家独自のピアノ書法を確立した作品。

コロンビア・ミュージック社 (Co)

セゴビア: ダイアトニック・スケールズ (24 の長調と短調の音階) BS ¥945

セゴビア編曲: ギター・ソロ・アルバム ¥1,260

ロマンス (シューマン) / メヌエット / ジグ / 新しいアイルランドの調べ (パーセル) / 歌劇『オルフェオとエウリディーチェ』～パレエ (グルック) / エチュード = ワルツ (セゴビア) / 『リュート組曲 No.1』～クーラント (バッハ) / ワルツ (ブームス) / 『抒情小品集第4集』～メロディ Op.47-3 (グリーク)

ハリソン: ルー・ハリソン・ギター・ブック [タネンバウム編・編曲] ¥1,890

セレナード (ギター・オリジナル) / アヴァロキテシュヴァラ / ビルと私のための音楽 / ジャーラ (ヤーラ) = 90 歳の

誕生日にレオポルド・ストコフスキーを楽しませるためにダクティアの様式でノビヴァリーのトルバドゥール・ピース
ノイシャートゥムによるソナタ

ボンセ:5つの小品 [2G] [サラテ編曲]

¥1,155

スケルツィーノ・マヤノメキシコの子守歌ノ間奏曲ノスケルツィーノノスケルツィーノ・メヒカーノ

ショット・マインツ社 (SM)

新・ケンパー&ピーチ:ギターのための視奏(新しいアプローチ)・1(英・仏・独語) 推薦

¥2,520

序文ノ生徒へ:なぜ視奏?ノ第1節:高音開放弦ノ第2節:第1ポジションの高音弦の音ノ第3節:低音開放弦を伴う高音弦の音ノ第4節:第1ポジションの低音,8分音符,強弱記号,4分の2拍子ノ第5節:新しい調,強弱記号,速度・発想標語ノ第6節:復習;へ長調・二短調[228の課題]

それぞれの節はソロ,ギター二重奏,ギターあるいはピアノ伴奏付きの3つのスタイルによる課題で構成されています。

新・ケンパー&ピーチ:ギターのための視奏(新しいアプローチ)・2(英・仏・独語) 推薦

¥2,520

序文ノ生徒へノ第1節:二長調,第2ポジション,6/8,スラー,6弦=レノ第2節:口短調,16分音符,6/8の発展ノ第3節:ト短調,第3ポジション,シンコペーション,半セーハノ第4節:イ長調・ホ長調,嬰へ短調・嬰ハ短調,5/4・3/8・3/2,スウィング・リズムノ第5節:旋法,装飾音,調性と技巧(無調),上級の技巧[150の課題]

新・ムストーン:イエフキン・イーヴァナ(ギター・ソナタ) 推薦

推薦

¥2,940

ムストーンは今北欧で最も注目されるピアニストであるばかりでなく,指揮者としてもヘルシンキ音楽祭管弦楽団の創設者・音楽監督,そして2003年よりタピオラ・シンフォニエッタを指揮しています。作曲家(ラウタヴァーラに師事)としては,このギター・ソナタを原曲とする管弦楽版(先にピアノ版もあり)がSCHOTT社の"Work of the Week"に選ばれるほど。この作品はカレリア地方の古来の歌唱「ルノ(詩)」の唱法を伝える最後の一人で,民族楽器カンテレ奏者であったイエフキン・イーヴァナ(1843~1911)の波乱の生涯にインスパイアされたものだと思います。前衛的でなく,ツィター属に属する撥弦楽器カンテレの響きも聞こえ,民族色も感じさせる佳曲です。イスマ・エスケリネンに献呈され,2005年7月26日に"2005年クフモ室内音楽祭"で同氏が初演。

モーツァルト:ディヴェルティメント K.439b-3 [F,C/E-H/Va,G] [シュヴァーブ編曲] (スコア+パート譜)

¥5,880

アレグロノメヌエットノアダージェョノメヌエットノロンド

原曲は2バセットホルン(or2クラリネット)とファゴットのための作品。

セオドア・プレッサー出版社 (TPC)

シエラ:3つのハンガリーの讃歌(1991) [2G] [グレイ&パール編] 推薦

¥2,100

バルトークノリストノリゲティ

タウナー:組曲 [第3楽章のみ F/Ob/Vn がオプション] BS

¥1,470

メブラーナ・エチュードノカミナータノジャグラーズ・エチュード

ジャズ&フュージョン・ギタリスト,タウナーの人気作品。

新・パッサ:アリオソ(カンタータ No.156 BWV156 & チェンパロ協奏曲へ短調 BWV1056 より) [F,G] [ショッカー編曲,ギター・パート編:ヴィオー] (フルート・パート譜付き)

¥1,575

ボルセーノ編曲:3つのデュオ [F,G] (パート譜のみ)

¥840

管弦楽組曲 No.2~ポロネーズ(パッサ)ノ精霊の踊り(グルック)ノシシリエンヌ(フォーレ)

タスカニー出版 (Tuscany)

アルバレス・ウガルテ&S.メルリン:タンタナクイ(5つの楽章をもつアルゼンチン風組曲) 推薦

¥1,260

プレルディオ(S.メルリン)ノアイレ・デ・チャカレーラ(S.メルリン)ノビダーラ(アルバレス)ノスケルツォ(S.メルリン)ノクエカ(アルバレス)

マヌエル・アルバレス・ウガルテとセバスティアン・メルリンの合作。タイトルはケチュア語で「出会い」のこと。

ウイリス:カブリッチョ・カンタービレ(A.ピアソール讃歌) [パリス&ロビンソン編・追加運指] 推薦

¥1,680

- デュアート:ベネズエラ風小組曲 Op.141(2002) ¥1,260
ワルツ / 子守歌 / ガート
- メルリン:鳥のカテドラル ¥1,260

テクラ出版 (TE)

- カルカッシ:25のエチュード Op.60(新浄書版)[ジェファリー編] 推薦 ¥1,575
1853年(頃)に出版された Brandus(パリ)と Schott(マインツ)の2つのオリジナルをもとに浄書したもので、一切のテキストと運指の変更や追加はされていません。楽譜の他に序文、初心者(そしてその他の人)のためのノート、カルカッシの短い伝記、“Op.60”の出版の歴史、細かいコメント(上級者向き)が収録されています。
- ジュリアーニ:24の練習曲 Op.48(新浄書版)[ジェファリー編] 推薦 ¥2,310
上の新浄書版の『ギター練習曲全集』から作品48だけを抜き出したもの。よく使われる練習曲集なので単独の出版は歓迎されます。
- ソル:ギター練習曲全集(新浄書版)[ジェファリー編](117ページ) BS ¥3,360
Op.Nos.6 / 29 / 31 / 35 / 60 / 『教本』より13曲
オリジナル版に含まれるコメントも収録。先のジュリアーニと並んで最も頼りになる版といえます。
- シューベルト:16のギター伴奏歌曲(同時代の編曲による)[声, G][ヘック編] 推薦 ¥3,360
羊飼いの嘆きの歌 D.121 / 海の静けさ D.216 / 野ばら D.257 / 狩人の夕べの歌 D.368 / さすらい人 D.493 / 朝の歌 D.685 / 竖琴弾きの歌 D.478b / 挨拶を贈ろう D.741 / 春のおもい D.686b / 紅すずめの求愛 D.552 / 舟びと D.536 / 憂い D.772 / 夜の曲 D.672 / 夜と夢 D.827 / 老年の歌 D.778 / パッカス讃歌 D.801
- ジュリアーニ:ギター作品全集(オリジナル版の復刻)[ジェファリー編]より:
- Vol.13 ギター独奏:6つのロッシニアーネ Op.Nos.119 ~ 124 ¥3,360
- Vol.17 ギター独奏:作品番号なしの7つの作品(オペラ編曲集) ¥3,150
ロッシーニの『シンデレラ』~序曲 WoO G-11 / ベッリーニの『海賊』~“嵐の猛威の中で”WoO G-14, “お前は不幸な女を見るだろう”~アレグロ・カンタービレ WoO G-10, “お前は不幸な女を見るだろう”~からのアレグロ・カンタービレによる変奏曲 WoO G-15 / ドニゼッティの『ローマからの追放者』~カヴァティーナ WoO G-12, 二重唱 “Se a me fido ognor sarai”からアレグロ・モデラート WoO G-13 / パチャーニの『インドのアレッサンドロ』~カヴァティーナ “Se d’amor fra le ritorte”WoO G-7
- Vol.18 ギター独奏:ロッシーニの歌劇『セミラーミデ』からの編曲集 ¥3,360
序曲, 他 14 曲 / 12 のワルツに編曲されたセミラーミデ
- Vol.22 ギター二重奏曲集 [2G] ¥3,570
協奏風変奏曲 Op.130 / 3つの協奏風ポロネーズ Op.137 / アポロ = ザールで人気のドイツ舞曲選集 WoO 2G-3 (ジュリアーニ) / G.ランツァのタランテッラ WoO (遺作) 2G-5 (ジュリアーニ編曲)
- Vol.24 ギター二重奏のための4つのロッシーニの序曲 [2G] ¥3,570
歌劇『イギリスの女王エリザベス (= セピリアの理髪師)』序曲 WoO (遺作) 2G-1 / 歌劇『シンデレラ』序曲 WoO (遺作) 2G-2 / 歌劇『コリントの包囲』序曲 WoO (遺作) 2G-3 / 歌劇『泥棒かささぎ』序曲 WoO (遺作) 2G-4
- Vol.26 ギター協奏曲 Op.30(ギターと弦楽四重奏のために編曲された) [G, 2Vn, Va, Vc] (パート譜) ¥4,095
- Vol.33 ギターと弦楽四重奏のための作品集 [G, 2Vn, Va, Vc] (パート譜) ¥4,095
パイジェットの“わが心もはやうつろになりて”による変奏曲とポロネーズ Op.65 / ロッシーニの『オテッロ』からの“ああ! 静けさ, あるいは空”による変奏曲 Op.101 / ジェネラルの『ローマのパッカス祭』からの“Nume perdonami”による変奏曲 Op.102 / お気に入りのワルツによる変奏曲 Op.103
- Vol.35 ヴァイオリン, フルート, チェロ, とギターのための10の作品 (Vn, F, Vc のパートとギター・パートを2冊に分けて合本) ¥9,660
セレナード Op.19 [Vn, Vc, G] / 変奏曲 Op.24a [Vn, G] / 協奏風二重奏曲 [Vn, G] / 協奏風大二重奏曲 Op.52 [F/Vn, G] / 大ボプリ Op.53 [F/Vn, G] / 6つの変奏曲 Op.63 [Vn, G] / 易しく楽しい小品集 Op.74 [F/Vn, G] / 12のレントラーとコーダ (Op.75) [F/Vn, G] / ロッシーニの『タンクレディ』の旋律によるボプリ Op.76 [F/Vn, G] / 易し

い小二重奏曲 Op.77 [F/Vn,G]

ジュリアーニ:ソナタ Op.15(新浄書現代版+1808年頃のオリジナル版)[ジェファリー編] ¥1,785

ジュリアーニ:大序曲 Op.61(オリジナル版の復刻)[ジェファリー編] ¥1,260

ジュリアーニ:3つのソナティナ Op.71(オリジナル版の復刻)[ジェファリー編] ¥1,260

ソル:セギディーリャ集[ジェファリー編](西語) ¥3,360

9曲[声,G]/2曲[声,P]/1曲[声,G/P]

ソル:続セギディーリャ集[ジェファリー編](西語) ¥3,990

1曲[2声,G]/4曲[3声,G]/6曲[2声,P]/5曲[3声,P]

オリジナル手稿譜あるいはソル時代の出版物から新しく編集されました。独唱ではありませんが、意外に少ないソルのスペイン的な部分を代表する曲として貴重な作品です。

ボッシュ:ギターのための作品集(オリジナル版の復刻)[序文:ジェファリー] 推薦 ¥3,360

Op.10 デュエッティーノ/Op.11 つまらない物(無言歌)/Op.12 星と花(夢想)/Op.13 セリア(ホタ=ワルツ)/Op.14 劇的幻想曲/Op.15 バルセロナの思い出(ワルツ=対話)/Op.16 スペインの帰営ラッパ/Op.17 ソナタのアレグロ/Op.18 瞑想曲/Op.19 バラード/Op.85 ムーア人の嘆き(メロディ)/Op.88 バラ(マンドリン=アドリブを伴うギターのためのワルツ)/Op.89, 6つのやさしい小品(子供っぽさ/第1グッヒラーナ/第2グッヒラーナ/別れ/嘆き/ジブシーの少女)/Op.91 鐘の音/Op.92 ヴェニス/Op.93 こだま/Op.94 チェロ/10のやさしい小品(ハバナ/小唄/ロマンセーロ/バンジョー/子供らしさ/アンダ・サレーロ/孤独/ヴェネチア/夢/タンゴ・フラメンコ)

バルセロナ生まれで、コストと同時代にパリで活躍し、「ギター之王」と称されたギタリスト、ハイメ(ジャック)・ボッシュ(1826~95)の作品集です。スペイン色が色濃く反映されています。

ボッシュ:パサカーユ[Vn,G](オリジナル版の復刻)[序文:ジェファリー](ヴァイオリン・パート譜付き) ¥735

オリジナル・タイトルは「パサカーユ/シャルル・グノーによるヴァイオリン・アドリビトゥムを伴うジャック・ボッシュによるギターのためのセレナード」となっています。グノーはバッハのプレリュードNo.1にも有名な旋律を付けました(「アヴェ・マリア」)。

モーツァルト~ソル:「ドン・ジョヴァンニ」から3つのアリア(新浄書現代版)[声,G] ¥945

ぶってね、マゼット(ツェルリーナ)/窓辺にいでてわが歌を=セレナード(ドン・ジョヴァンニ)/いとしい人、その痛みを治すのには(ツェルリーナ)

F.モリーノ:協奏風大三重奏曲 Op.30[F/Vn,Va,G][ジェファリー編](スコア+パート譜) 推薦 ¥3,570

ラルゲット/主題と変奏、アンダンテ・グラツィオーソ/メヌエット/ロンド

ミラノのジュゼッペ・ヴェルディ音楽院のギター科教授 F.ピラギのノートも付されています。ギター・パートにもかなり旋律が出てきて楽しめます。

モレッティ:大三重奏曲[Vn,Hm/Va,G][新版:ルコント,序文:ジェファリー](スコア+パート譜) 推薦 ¥2,520

ラルゴ/レクタティーヴォ・ア・ピアチェーレ~アレグロ/ポラッカ

この作品は普段ギターの室内楽には現れないホルンが使用されている珍しい作品で、ホルンは主題を最初に吹くなどかなり活躍します。ギターも、曲中では長大な「ポラッカ」で技巧的なパッセージが与えられています。

ピアームュージック (pm)

アルデボル:ギターのためのソナタ ¥1,680

プレルディオ/変奏曲/舞曲

オルボン:プレルディオと舞曲[レイ・デ・ラ・トーレ編・運指] BS ¥840

初・ハリソン:ギターのために(ギター独奏のための作品集)[シュナイダー編・編曲] ¥2,835

(ギターのためのオリジナル作品)ギターのためのセレナード(1952)/「ダイトーン・セット」(1978)~悲嘆,ヴァルター・フォン・デア・フォーゲルヴァイデの「パレスチナの歌」による変奏曲/(他の楽器からの編曲作品)ソナタ No.1(1943)/ソナタ No.5(1943)/イーヴリン・ヒンリクセンのためのワルツ(1977)/タンディのタンゴ(1992)

ルー・ハリソンはカウエルとシェーンベルクに師事した作曲家で、ケージと打楽器の音楽会を企画したり、批評活動を行なったりしました。60年代には東アジアを旅行し各地の伝統音楽を研究し、作曲の基礎としました。ジョ

ン・シュナイダーはフレットが可動のギターを使用し、純正調律や他の調律法に対応して演奏しています。

ボンセ:6つの小さなプレルディオ

¥945

ブライトコプフ・ウント・ヘルテル (Br&H)

ヴィゼー:組曲二短調 [旋律楽器(F/Rec/Vn),G] [ウールマン編曲] (旋律楽器パート譜付き)

¥1,575

バロック・ギターの作品ですが、ヴィゼー自身が出版物の中で、曲を選んで他の楽器と通奏低音のための楽譜も残しています。彼はリュリヤクーブランなどの作品の編曲も残していますが、ギター・ソロではなくルイ 14 世の宮廷に流れた上品な室内楽の雰囲気が味わえます。

ヘンデル:ソナタ・ホ短調 HWV375 ('3つのハレ・ソナタ'より) [F,G] [ナーゲル編, ムニエ運指] (F・パート譜付き)

¥1,260

アダージョ / アレグロ / グラーヴェ / メヌエット

メンデルスゾーン:歌曲選集 [声,G] (独) [クラウゼ編曲]

¥2,835

イタリア Op.8-3 / 春の歌 Op.19a-1 / 歌の翼に Op.34-2 / ヴェニス舟の歌 Op.57-5 / 古いドイツの歌 Op.57-1 / 夜の歌 Op.71-6 / 秋の歌 Op.84-2 / 挨拶 Op.19a-5 / 別れて Op.9-6 / ゆりかごのそばで Op.47-6 / 新しい恋 Op.19a-4 / 『2つのリート』 ~ 小姓の歌 / 遥かなる人に Op.71-3 / 最初の喪失 Op.99-1

モーツァルト:ソナタ・変ホ長調 K.282(189g) [F, G] [S.シェーファー編曲] (F・パート譜付き)

¥2,205

アダージョ / メヌエット / アレグロ

原曲はピアノのためのソナタ No.4 変ホ長調。旋律と伴奏が比較的是っきりした書き方がされているので、フルートとギターには向いていると思われます。第2楽章はギターから開始されます。

モーツァルト:ソナタ・ハ長調 K.330(300h) [F, G] [S.シェーファー編曲] (F・パート譜付き)

¥2,100

アレグロ・モデラート / アンダンテ・カンタービレ / アレグレット

原曲はピアノ・ソナタ No.10 八長調。トルコ行進曲付きのソナタと同時期に作曲された愛らしいソナタ。

メル・ベイ出版社 (MB)

ヴィニツキー:クラシカル・ギターのためのジャズ・エチュード&エクササイズ(CD付き)

¥1,995

(エチュード) No.1 & 2 (スロー・スウィング) / No.3 (ラテン) / No.4 (スロー・スウィング) / No.5 (サンバ) / No.6 (ジャズ=ロック) / No.7 (ブルース) / (エクササイズ) No.1 (スウィング) / No.2 & 3 (ラテン) / No.4 ~ 11 (無題)

ショパン:マズルカ全集(51曲) [アーロン編曲] 推薦

¥3,360

Op.6 / Op.7 / Op.17 / Op.24 / Op.30 / Op.33 / Op.41 / Op.50 / Op.56 / Op.59 / Op.63 / Op.67 / Op.68 / 作品番号なし

全曲に、短いながらもコメント付き。

新・ダウランド:クラシック・ギターのためのジョン・ダウランド(40曲) [シクトパーグ編曲・編] 推薦

¥3,150

ダウランド氏の真夜中 / ホワイト夫人に事なし / タールトンの復活 / ウィンター夫人のジャンプ / ホワット・イフ・ア・デイ / ウィロビー卿のご帰館 / メランコリー・ガリアード / フォーチュン / 靴屋の女房 / ダウランドのガリアード / プレルディオム / キャンディッシュ大佐のガリアード / ガリアード (ウォーシנגラムによる) / レイトン夫人のアルメイン / リッチ夫人のガリアード / ラウンド・バトル・ガリアード / ソルス・クム・ソラ (男ひとりに女ひとり) / スザンナのガリアード / ハンソン夫人のパフ / わが窓より立ち去れ / ホワイト夫人に事あり / ダウランドの最初のガリアード / エリザベス女王のガリアード / ヴォー夫人のガリアード / クリフトン夫人の風情 / ケイス博士のパヴァン / サー・ジョン・スミスのアルメイン / ロビン / サー・ジョン・サウチのガリアード / つねにダウランド、つねに悲しく / K.ダーシーのガリアード / ディゴリー・パイパー大佐のガリアード / ガリアード (ダニエル・パチェラーのガリアードによる) / エセックス伯爵のガリアード / ラクリメ / クリフトン夫人のアルメイン / 蛙のガリアード / ファンシー / ファンシー / ファンタジー

弦 = F#, Capo の指定があります。収載曲の内 26 曲の音源を、インターネットによって無料で手に入れることが出来ます。

新・デ・キアロ編曲:愛のメロディ(クラシック・ギター・ソロのためのピアノ・マスターワークス)

¥3,150

亜麻色の髪の乙女(ドビュッシー) / タンゴ(アルベニス) / カン・カン(オッフェンバック) / 時の踊り(ボンキエリ) / ジムノペディ No.1 / ジムノペディ No.2 / ジムノペディ No.3(サティ) / 楽興の時(シューベルト) / マリオネットの葬送行進曲(グノー) / スケートーズ・ワルツ(ワルトイフェル) / 『パガニーニの主題による狂詩曲』～第 18 変奏(ラフマニノフ) / エレジー(マスネ) / パヴァーヌ(フォーレ) / 夜を徹して(ウェールズ伝承曲) / ハンガリー狂詩曲 No.2[リスト]

教授・演奏活動,多くのレコーディング,出版物で知られ,合唱団の指揮者もしている多才なジョン・デ・キアロの編曲集。中～上級からプロレベル(特にリスト)まで楽しめる曲集で,実際にはピアノ曲ではない作品も含まれています。

新・パッサ:ジャズ・パッサ・フォー・フィンガースタイル・ギター[イングラム編曲](五線&タブ譜) 推薦 ¥2,415
無伴奏チェロ組曲 No.4～ブルー/アンナ・マグダレーナ・パッサの音楽帳～行進曲,アンダンテ,ミュゼット,メヌエツ/G 線上のアリア/リュート組曲 No.1～ブルー/無伴奏ヴァイオリン・パルティータ No.1～サラバンド/カンタータ No.208～羊は安らかに草をはみ/小組曲へ短調～ジグ/カンタータ No.140～目覚めよと呼ぶ声あり/平均律クラヴィア曲集第 1 巻～プレリュード No.1

ジャズの様々な技法を使った編曲で,最後の『プレリュード No.1』はレニー・プロウ風のハーモニックスを使用し効果的です。

新・プリッチャード:ギター・ソロのための 6 つの小品 ¥2,100
おぼろな眺め / 音のない夢 / 音のない夢(2 nd G・オブション) / コリーザ / オープ・ウィーヴァー / アルンド / レストレイション

David Pritchard はアメリカのアコースティック・ギタリストで作曲家。

フレスコバルディ:ジロラモ・フレスコバルディの音楽(クラシック・ギターのための)[シェパード=スミス編曲・編集] ¥2,100

『チェンバロとオルガンのためのトッカータとパルティータ集・第 2 巻』(1637)～アリア・デット・バレット(アリアと変奏),アリア・デッタ・ラ・フレスコバルダ(アリアと変奏),第 5 ガリアルド / 『チェンバロとオルガンのためのトッカータとパルティータ集・第 1 巻』(1637)～ラ・バッターリア(戦闘)にもとづくカプリッチョ / 『カンツォーナ集・第 1 巻』(1628)～スピネッティナーのためのトッカータ(Toccata per Spinettina sola, over Liuto)

初期音楽に関する DMA(Doctor of Musical Arts)で,チェンバロ演奏,歴史的演奏の先生でもあるヴィヴィアン・モントゴメリーによる演奏の実際についてのコメント付き。

新・マスターズ:ネクスト・レベル到達法(経験を積んだクラシカル・ギタリストのための教本)(英文,90 ページ) ¥1,995

序文(何故この本が必要なのか) / 新しい目的意識での基本への再訪 / 全てのレベルでのしっかりした演奏の基本 / 演奏のスキルの発展 / 全ての結合 / 参考文献 / (掲載楽譜) エトルリア風プレリュード No.1(ブリンドル) / 夢(ビーニャス) / 『5 つの挿絵』～アレグロ・モデラート(ウルクスノフ) / 『パルティータ No.4』～アレグロ(プレシャネッロ) / 悲しい思い出(プロカ) / 『5 つのやさしいエチュード,あるいはほとんど...』～カンタービレ(イアンナレリ) / エチュード No.7(コスト) / 序奏とアンダンテ(ビーニャス) / 『詩的プレルディオ集』～瞑想(セナモン) / プレリュード No.5(ターレガ) / ボレロ(アルカス) / 『パルティータ No.10』～カプリッチョ(プレシャネッロ) / 子守歌(未刊の作品)(コスト) / メレンゲ(カセウス) / ヴァルセアーナ(アサド)

2000 年に GFA 国際ギター・コンクールとアンドレス・セゴビア国際ギター・コンクール(リナーレス)で優勝の他,様々なコンクールで優勝・入賞し,以来演奏,録音,教授,マスタークラスの講師と忙しいマスターズは 2004 年 GFA の Executive Vice-President に選出され,Executive Director も務めています。ピーボディ音楽院でバルエコに師事し学士・修士号を得,更に南カリフォルニア大学でテナントに師事し博士課程を修了しました。

新・メツガー解説・ギター編曲:マーシュ・リュート・ブック選曲集(37 曲) 推薦 ¥3,675
Commentary and Annotated Inventory of the current Edition / Bibliography

Selected music from the Marsh Lute Book, Bublin, St. Patrick's Cathedral, Marsh's Library Manuscript Z3.2.13:

[Pavan] / Mownser[Mounsier's almaine] / L. Hyryfords Gallyard[Lord Hereford's Galliard] / [A Galliard] / Francis

Galli[Francis Galliard] / [Rogero] / ["The Downright Squire" also know as "The Upright Esquier"] / [Pepper is Black] / Fancy Newm[Newman: Fantasia] / [A Galliard] / [A Galliard] / A Gall: Lychfy[A Galliard (Henry) Lichfield] / [Lusty Gallant] / Gally Queen Scotte[Queen of Scot's Galliard] / Downe Viencella[Setting of Claudin de Sermisy's Chanson "Don't Vient Cela"] / [Galliard] / [A Galliard] / [Anthony Holborne: Galliard "The New Year's Gift"] / [A Galliard] / ["Sinkapace Galliard" also knows as "Venetian Galliard by Churchyard" and "Church Galliard"] / [Francesco da Milano: Fantasia] / [A Fantasia] / Fernyers[Fernyer's Fantasia] / [Quadro Pavan] / [Weston's Pavan] / [Francesco da Milano: Fantasia] / [A Fantasia] / [A Galliard] / Knoles Gall[Knollys Galliard] / Cotton[(Clement) Cotton: Fifteen Divisions on "Goodnight"] / [To Westminster] / [Albert de Rippe: "L'Oeil Gratieux" Intabulation of the anonymous Chanson] / The Emperor's Almayne[The Emperor's Almain] / The Duke of Parmes Almayne[The Duke of Parma's Almain] / O deare Lyfel["Oh Dear Life" Intabulation of the anonymous ayre] / A Pavion by Matheas, Maheal or Maheab[Pavan]

このリュート曲集は c1583～c1610 の間にまとめられたもので、1701～1703 年にダブリンに図書館を建て、これを蔵書としたナーシサス・マーシュ大司教(1638～1713)の名が付けられています。

モレル: ジョージ・モレル(若いギタリストのための独奏曲集) (CD 付き) ￥2,205

プレルディオ/ミロンガ/ワルツ/付点音符の練習曲

モレルの、初めての若いギタリストのための曲集で、南米音楽にルーツを持つスタイルで書かれています。リズム感を身に付けさせようと言うねらいがあります。

モレル: ジョージ・モレル(若いギタリストのための二重奏曲集) [2G] ￥2,415

北方の舞曲/ミロンガ/プレリウド/パンペロ

各曲に演奏についての簡潔なノートが付されています。音源をオンラインで無料入手することができます。

新・モレル: ジョージ・モレル(若いギタリストのための四重奏曲集) [4G] (スコア) ￥1,575

カンシオン/リズム練習曲

新・ロドリゲス編曲: クラシック・ギターのためのバロック編曲集 推薦 ￥2,415

組曲二短調 HWV448(ウヴェルチュール, アルマンド, クーラント, サラバンド, シャコンヌ)(ヘンデル) / 協奏曲二短調(アレグロ, アダージョ, プレスト)(A.マルチェッロ)

ヘンデル作品の原曲はチェンバロ用, マルチェッロの協奏曲はパッサリのクラヴィア用編曲(BWV974)で有名。音源をインターネットによって無料で手に入れることができます。

その他の出版社

アンナラ & マトリク著: ギターとリュート作曲家ハンドブック(英語, 172 ページ) [バックマン英訳] ￥2,940

ヴィヴァルディ: 協奏曲 No.9(二長調) (Op.3 '調和の豊感'より) RV230 [ヴィンジャーノ編曲] ￥1,155

ジョン・ウィリアムス演奏の曲です。

ディアンス編曲: ナイト・アンド・デイ(10のジャズ・アレンジメント) (CD 準拠曲集) BS ￥3,990

オール・オヴ・ミー(シモンズ) / ブルーゼット(シールマンズ) / ナイト・アンド・デイ(ポーター) / ミスティ(ガーナー) / オール・ザ・シングズ・ユー・アー(カーン) / 虹の彼方に(アーレン) / A 列車で行こう(ストレイホーン) / アイ・ラヴ・パリ(ポーター) / チュニアの夜(ガレスピー) / ポルカドッツ・アンド・ムーンビームス(ヴァン・ヒューゼン)

ロラン・ディアンスのヒットCD『ナイト・アンド・デイ』に準拠した曲集で、『10のジャズ・アレンジメント』と副題が付いており、そこでの彼のセンスの良い編曲を実際に目の当たりにすることができます。彼の作品・編曲は特殊な技巧が使われていたり、音楽的な指示が多く書き込まれています。通常、彼の楽譜はフランスで出版されているので仏語解説に苦労された方も多いでしょうが、今回は大丈夫。アメリカのGSP出版なので英訳が付いています。最後の曲のみヴィブラフォンあるいはマリンバとギターのための二重奏用です。なお、日本盤 CD にボーナストラックとして収録されていた『サント・ティルソ』は収められていません。

新・トルーラーシュ: 民俗風ソナチネ Op.57 [F,G] (スコア 2冊) 推薦 ￥5,250

スロヴァキアの思い出 / メーレンの歌 / チェコのフリアント / ラテン風舞曲

ヤン・トルーラルシュ(通常独語読みでトルーラー)は1928年ブラハに生まれ,2007年リンツで没した作曲家で,ギターも学んだ人。『ソナチネ・センブリーチェ Op.18』などギターを含む作品も多い。

ムーレン 世編曲:ナッシュヴィル・ノエル[4G](スコア+パート譜) 推薦	¥1,785
ポッケリーニ:6つの五重奏曲[2Vn,Va,Vc,G][キエザ校訂](パート譜)	
・第1番二短調 G.445	¥8,295
・第2番ホ長調 G.446	¥8,295
・第3番変ロ長調 G.447	¥8,295
・第4番二長調 G.448	¥8,295
・第5番二長調 G.449	¥8,295
・第6番ト長調 G.450	¥8,295

アンドレス・セゴビア・アーカイヴ (編集主幹：ジラルディーノ)

このコレクションは、オリジナルのマニュスクリプトを所有しているエミリア・セゴビア・デ・サロブレニャ夫人の許可を得て、すぐれた作曲家によるセゴビアのために書かれた未刊(一部既刊)のギター作品を提供しようというもので、楽譜はジラルディーノとビスカルディによって校訂され、作曲家・作品についてのコメントとマニュスクリプトのファクシミリが付されている、まことに価値ある出版物となっています。ショット版のシリーズとともに、全ギタリストの手元に揃えていただきたいものです。

アレーギ:叙情的小品集

¥3,045

遥けき歌(第1版:1924,第2版:1925)/間奏曲/田舎の/打ち明け話/トナーダ・デ・ロンダ=レオン(以上1925)

ピセンテ・アレーギ・ガライ(1871~1925)は、19世紀最後の10年と20世紀はじめの10年間に見られた国民主義とロマン主義の混合の時代の最後を代表する作曲家の一人で、ピアニスト、音楽批評家でもありました。主に交響楽作品が有名です。

ウリベ・オルギン:小組曲 Op.80 No.1

¥2,100

ギリエルモ・ウリベ・オルギン(1880~1971)は、コロンビアの作曲家で、1903年にニューヨークで初めて接したリヒャルト・シュトラウス指揮のヴァーグナー『パルシファル』や、クナイゼル弦楽四重奏団の響きを聴いて、自国の音楽の発展を志し、自身は、パリのスコラ・カントルムに留学しダンディのもとで勉強しました。その後交響楽活動や新しいスタイルの音楽学校などに力を注ぎましたが、陰謀によって失脚し、1941年に自伝を書いたあとは30年間隠遁生活をおくりました。ギター曲は2曲あり、コロンビアのギタリストのモンターニャに捧げられた作品52-2の『3つの素描』と、この作品です。第1・第3楽章にスペイン・南米特有のヘミオラのリズムが使われています。

オリヴィエリ・サンジャコモ:2つのイタリアの歌[ジラルディーノ&ビスカルディ編](英語)

¥3,045

大作曲家オットリーノ・レスピーギの弟子で後夫人となった作曲家・歌手で、他方面にも才能を発揮したエルサ・オリヴィエリ・サンジャコモ(1894~1996)は、はじめピアノを学び、後作曲をレスピーギに学びました。レスピーギとの出会いが彼女の人生を決定付けたと言えるでしょう。初期の作品はリコルディで出版されたり、ピクトリア・ロス・アンヘレスによって歌われた、とあります。この夫妻はセゴビアと親しく交流しましたが、夫の方の作品は生まれませんでした。この作品は彼女が夫の死後再び始めた作曲活動の成果の1つです。シンプルな旋律に叙情的な和声付けがなされ、ジラルディーノはモンボウの『歌と踊り』のシリーズを思わせると言っています。ポティート・ペダッラによる10ページにわたる解説が付いています。

カサド:ギターのための作品集

¥3,045

カタルーニャ風の(1922)/レオナルドの歌(1951)/サルダーナ・チヒアーナ(キジアーナ)(1951)/ブレアンプロとサルダーナ(1965)/カタルーニャの伝説/2つのフィンランド民謡

ガスパル・カサド(1897~1966)は、カザルスに学んだバルセロナ生まれのチェリストで、日本では晩年にピアニストの原智恵子と結婚したことで知られています。作曲も巧みで、チェロ用の作品では親しみやすい『愛の言葉』や『無伴奏チェロ組曲』がよく演奏されます。ギターのためには、セゴビアのためのボッケリーニの『チェロ協奏曲』のギター版編曲が有名ですが、オリジナルの中ではレコーディングもされている『サルダーナ(サルダーナ・キジアーナのこと)』、『ブレアンプロとサルダーナ』は出版が望まれていました。また、『カタルーニャの伝説』にはリョベート他多くの編曲がある民謡『聖母の御子』が使われていて(ちょっと凝った和声ですが)、『えっ、誰の編曲?』って言わせるのも一興かも。

カステルヌオーヴォ=テデスコ:ソナタ(ボッケリーニ讃歌)[ジラルディーノ、ビスカルディ、ミケーリ編](マニュスクリプト付き) BS

¥6,300

アレグロ・コン・スピリット/アンダンティーノ、クアジ・カンツォーネ/テンポ・ディ・ミヌエット(セリモニオーソ=コン・グラツィア)/プレスト・フリオーソ

『ボッケリーニ讃歌』という副題で知られるソナタは、その多くの作品の提供によりギター界に貢献したイタリア生まれのスペイン系ユダヤ人作曲家カステルヌオーヴォ=テデスコの最も頻りに弾かれる作品の1つですが、オリジナル版が(アンドレス・セゴビア・アーカイヴ)で登場しました。例によって解説が興味深く、特に第3楽章『メ

ヌエット』については作曲者のマニユスクリプトとセゴビア版との相違に言及しており、もともとは『ソナティナ』というタイトルだった、など様々なことが分かりました。

コレ: プリビエスカ~ギターのための詩曲 Op.67

¥1,890

アンリ・コレ(1885~1951)は、フランスの作曲家・著者・ピアニスト・音楽学者・スペイン学者で、ポルドー音楽院において、ピアノは名ヴァイオリニスト、ジャック・ティボーの弟ジョゼフに師事、その後和声学と対位法をセヴラックに学びました。スペインに惹かれ留学、永年滞在した間、ペドレル、ファリャ他に学び、またアルベニス、グラナドス、トゥリーナ他とも親交を持っています。帰国後はフォーレに学びました。フランスの「六人組」の名付け親で、『アルベニスとグラナドス』などの著書もあり、ジャーナリズムでも活躍、そしてヴァイオリンそしてピアノのための2つの『フラメンコ協奏曲』や、『アランプラ交響曲』などの音楽作品も多くあります。スペイン風のこの曲は、初期のピアノ曲の自身によるセゴビアのための編曲と思われそうですが、演奏不可能だったようで、今回の出版は残されたマニユスクリプトとピアノ版からギター用に再構成されたものです。捨て去るには惜しい魅力的な作品です。

コンパニー: ギターのための作品集

¥5,775

プレルディオ(G.フォーレに思いを馳せて)Op.19-1/a(1972) / 子守歌(M.ラヴェルに思いを馳せて)Op.19-2(1972) / ピッコロ・ジャズ(デューク・エリントンに思いを馳せて)Op.16(1971) / プレルディオ(P.I.チャイコフスキーに思いを馳せて)Op.17(1971) / プレルディオ(G.フォーレに思いを馳せて)Op.19-1/b(コンサート・ヴァージョン=2002) [以上ソロ] / ある心像(F.シューベルトに思いを馳せて)Op.24(1978) [2G]

アルヴァロ・コンパニー(1931~)は、フィレンツェのケルビーニ音楽院で作曲をチチョネージ、ダラビッコラ、フラガバネ、フラッツィ、プロスペリに師事、ギターはシエナのアカデミア・キジアーナで1950年から1954年の間セゴビアに師事しました。1960年にフィレンツェ音楽院にギター・コースを設立、その後モデナ、ボルツァーノ、そしてローマのサンタ・チェチーリア音楽院で教えました。演奏家としても活躍。作曲家としてのコンパニーは無調から出発していますが(ピアノのための『ファンタジア』Op.1)、1970年代の作品はギター的で解りやすい作風になっています。作曲家によるマニユスクリプトは付属していません。

サン・セバ스티アン: エリミーナ(郷愁)

¥1,680

ホセ・ゴンサロ・スライカ・イ・アレーギ(1886~1956)は、フランス国境に近い、バスク人の住むサン・セバスティアン(バスク語でドノスティア)に生まれました。彼は「ホセ・アントニオ・デ・サン・セバスティアン」あるいは「ホセ・アントニオ・デ・ドノスティア」と自称しましたが、後者のほうが人口に膾炙しています。幼少からカプチン会の大学で音楽を学び、神父になってからも音楽とバスクの民俗音楽の研究を続けました。この頃グラナドスやペドレルと知り合っています。当時のスペイン人の例に漏れず、パリに留学しルーセルやラヴェル他に指導を受けました。ギターのためには3曲を残していますが、出版はされず、セゴビアによってピアノのための『バスク風プレルディオ集』の中から編曲された『ドロール』1曲によって知られています。この曲はバスクの舞曲「ソルチーコ」によっており、5拍子のリズムの上に和音をともなった旋律が流れます。

サンファン: ある伝説

¥1,890

サン・セバスティアン生まれのペドロ・サンファン(1886~1976)は、スペインでは忘れられた作曲家で、マドリード音楽院(トゥリーナ他)とパリのスコラ・カントルムで学びました。1924年にキューバに渡り、ハバナ・フィルハーモニック管弦楽団を創設するなど指揮者・作曲家・教師として活躍。1927~43年の間には、ロサンジェルス・フィルハーモニック管弦楽団、NBC交響楽団(ニューヨーク)、パリ・コンサート協会の客演指揮者を務めました。1942年には今度はアメリカに移住して市民権を得、ここでも活躍し、この地で没しました。彼は、「黒人の魂を持つ白人」と言われましたが、この作品はキューバに行く前の、スペイン風なロマンティシズムに溢れたものです。

ジラルディーノ: アンドレス・セゴビアとの対話

¥2,205

このシリーズの編集主幹を務めるアンジェロ・ジラルディーノは、リナーレスのアンドレス・セゴビア財団の芸術監督も務めていますが、ジガンテに委嘱されてセゴビアを讃える独奏作品を2002年に書き上げました。

スコット: ソナティナ

¥2,520

シリル・マイアー・スコット(1879~1970)は、イギリスの作曲家・ピアニスト・文筆家で、幼少から音楽の才を示し、12歳のときにはドイツ・フランクフルト高等音楽院に留学し、フンパーディンクに師事するほどでした。初期の作品はハンス・リヒター(指揮者)、ロゼー(著名なヴァイオリニスト)、ギーゼキングらに演奏されました。その後は、

印象派に惹かれ、ドビュッシー風の作品を書き、ドイツで2つのオペラが初演されたりしました。本国では、絵画的なタイトルを持つピアノ小品が人気を博しましたが、本人は「ミニアチュリスト」といわれるのは気に入らなかったようです。この曲は、全曲はセゴビアによって演奏されず、第1楽章だけが『夢想』として演奏されました。ギター以外の作曲家による(おそらく)イギリス初の作品として知られています。

タンスマン:ギターのための選作集

¥6,720

インヴェンション(バッハを讃えて)(パスピエ, サラバンド, シシリエンヌ, 2声のトッカータ, アリア) / パッサカリア(パッサカリア) / 小品集(ヴァルス=カプリス, 民衆舞曲, ブルレスク, 子守歌=オルゴール, 練習曲) / 前奏曲と間奏曲 / 4つのマズルカ

以上に加えて、失われた『ソナティナ』の第2楽章・第4楽章とされる『哀歌』と『フゲッタ』, 2つのカタルーニャ民謡『哀歌』と『盗賊の歌』の自筆譜ファクシミリも付いています。ジガンテによる15ページの解説, 7ページの作品表が貴重です。(全104ページ)お勧めです!!!

デスデリ:ホ調のソナタ

¥4,515

プレルディオ / アリオソ / スケルツォ / トッカータとフーガ

エットーレ・デスデリ(1892~1974)は、あまり有名ではありませんが、20世紀前半のイタリア音楽の歴史上重要な人物と考えられています。彼に最も影響を与えた作曲の師は、カステルヌオーヴォ=テデスコの先生でもあるピッツェッティ(近代イタリアの復古主義を推進)であり、イタリアでは珍しくブラームスやレーガーのようなドイツ風のがっしりした作品が多くみうけられます。この作品もシンフォニックな楽想を持った、22ページにわたる比較的大きな曲です。

L.パークリー:4つの小品

¥2,520

モデラート・マ・コン・ブリオ / アンダンテ・コン・モート / レント(サラバンド楽章) / アレグロ, エネルジコ

イギリスの作曲家サー・レノックス・ランドル・フランシス・パークリー(1903~1989)は、ウォルトンやティベットと同世代の作曲家ですが、パリでナディア・ブーランジェに師事したとおりフランス的な部分を持っています。有名な『ソナティナ』が1957年、『主題と変奏』が1970年に書かれましたが、この作品はおそらく彼のパリ時代(1927~1932年)の作品と思われる、スペイン的な趣の中にフランス風軽妙さも感じられます。

パイーサ:海の歌(1919)

¥2,520

カタルーニャの作曲家・教師・指揮者・批評家・音楽学者のジャウメ・パイーサ・ジョ(1880~1969)は、20世紀の初めには既に成功した作曲家でしたが、その後ドイツ音楽に嗜好が変わり、ヴァーグナーの信奉者ペドレルや後期ロマン派のR.シュトラウス、さらに、シェーンベルクの表現主義や12音技法にも影響を受けました。とはいえ、この曲はピアノ的な書法によるシンプルなメロディを持つ舟歌風の小品で、マニユスクリプトには、「A.セゴビアのために」と記されており、「ピアノあるいはギターのための」となっていますが、ギターでも十分楽しめます。テーマは『聖母の御子』に似ています。

パイーサ:3つの思い出の旋律

¥3,255

プレルディオ = 古道を通過して / 対話 / 遙かな踊り

パイーサは、1937年スペイン内戦のためアルゼンチンに渡り、生地には1度戻っただけで、そこで亡くなりました。この作品は、おそらく故郷を偲んで初稿が1938年に作曲され、1939年に改訂されましたがセゴビアの手には渡らず、約40年後に夫人によって巨匠に贈られました。曲は、ギターの性能を考えたのでしょうか、3つの楽章それぞれシンプルですが、郷愁を感じさせる第1楽章、心にしみる美しい第2楽章、リズムカルな第3楽章とバランスよく配置されています。

ハウク:ギター・ソロのための全作品集

¥6,300

エチュード(幻想的ロンド)(1955) / パッサカリア(1956) / 夜明け(アルバ)(1961頃) / プレリユード, テイエントとトッカータ(1961頃) / プレルディオ(1961頃)

ハンス・ハウク(1900~1967)は、スイスの作曲家・教師・指揮者で、バーゼルでE.レヴィ, E.ペトリ, チューリッヒでブゾーニにピアノを師事。ミュンヘンでは、スイスの作曲家W.クールヴォワジエに作曲・管弦楽法・指揮法を学びました。彼は、ギターは、最初歌劇の中で、次に子供の声とソプラノを含む小アンサンブルの作品に使用し、1951年にはギターと小管弦楽のための『コンチェルティーノ』がアカデミア・キジアーナの作曲賞を得ました。1961

年ころ作曲された3曲(あるいは5曲)の独奏作品は既に1970年に出版されましたが、残りの2曲はこれらより先に書かれた新発見の作品です。セゴビアが録音したのは、『夜明け』と『プレルディオ』(ポストリュードの名)です。ロマンティックでほの暗い叙情性が特徴です。

フェルー:スピリチュアル(1926)

¥1,680

ピエール=オクタヴ・フェルー(1900~1936)は、フランスの作曲家・文筆家・ピアニストで、自身の“ル・トリトン”という音楽協会を組織し、彼とその同世代の作品だけでなく、彼の好んだバルトーク、マルティヌー、プロコフィエフ、タンスマンなどの東欧の作曲家も紹介しました。当時のパリの音楽シーンの中では、進んだ、ジャズやストラヴィンスキーの影響のある作品を書きました。この曲にもそれは表われています。

フォルネロ:プレリュード Op.13

¥1,470

アロイス=アンリ=ジェラルド・フォルネロ(1890~1965)は、スイスの作曲家・批評家・教師で、ローザンヌ音楽院でヴァイオリンと音楽理論を学び、パリのスコラ・カントルムでダンディに作曲を師事しました。曲は、カンパネラ奏法も使ったシンプルなものですが、そのせいか、ギターを弾かない作曲家の作品にしては珍しく、作曲家の記譜通りに演奏できます。

R.プティ:シシリエンヌ

¥2,730

レーモン・プティ(1893~1976)は、フランスの作曲家・音楽ジャーナリスト・著作家で、宗教的作品が重要ですが、ギターの作品はブジョールに捧げられ、1928年エシック社から出版された『夜想曲』のみが知られてきました。この曲は、シシリアーナのリズムが支配するまことに美しい作品です。

フラッツィ:2つの小品

¥2,730

間奏曲/バルダンツォーソ(大胆な)

ヴィト・フラッツィ(1888~1975)は、イタリアのパルマ近郊の音楽好きな一家に生まれ、フィレンツェ音楽院の教師を長年務めました。彼の弟子にはダッラピッコラ等有能な作曲家がいます。また、アカデミア・キジアーナでは、カザルス、カサド、コルトー、後にセゴビア等と同僚でした。曲は、悲しみをたたえた間奏曲と、“大胆な”と記されたスペイン風舞曲からなっています。

ブレヴィル:ファンテジー(幻想曲)

¥3,045

ピエール・オンフロワ・ド・ブレヴィル(1861~1949)は、フランスの作曲家・教授・オルガニストで、フランクの弟子。熱狂的なワグネリアンでもありました。曲は3つの部分からなっており、続けて演奏されますが、「決然と」で始まり、「遅く」を経て「とても早く」に入り、盛り上がって終わります。

プレスティ:セゴビア

¥2,100

屈指のギター二重奏団として知られたプレスティ=ラゴヤ・ギター二重奏団は、1952年に結成されましたが、レパートリーを拡充するためラゴヤは編曲(作曲も)を始め、プレスティは作曲を始めました。その結果イダ・プレスティ(1924~1967)は、『アピラの踊り』、『ハンガリーの女』、『幻想的練習曲』、『スペイン』などの二重奏曲を残しましたが、もちろん独奏曲も作り、『朝の練習曲』、『私の母への子守歌』などがあります。この曲もギタリスト作曲家らしく、ギターの特性を生かした明快な楽想の作品で、芸術性うんぬんよりも、弾いて楽しい作品です。

ペイロ:主題と変奏

¥1,680

スイスの女性作曲家・教師・指揮者フェルナンド・ペイロ(1888~1978)は、生地ジュネーヴでプロッホ、ダルクローズ、パリでジェダルジュとデュカスに学びました。同世代のマルタンと同じく、ジュネーヴにしばらく住んだセゴビアに刺激を受けて書かれた、(5つの)プレリュードやこの作品、そして1954年に書かれた『小組曲 Op.31』があります。曲は、主題と淡い現代性を感じさせる5つの変奏と、小さなフーガによる最終変奏からなっています。

マルテリ:4つの小品 Op.32

¥2,310

アンリ・マルテリ(1895~1980)の生地は、フランスのコルシカカアルゼンチンのサンタ・フェカ二説ありますが、彼自身はコルシカ出身と考えていたようです。初期には無調の『管弦楽のための協奏曲』がクーセヴィツキー指揮のボストン交響楽団で初演されたり、室内楽も多く書いていました。1939年に、サン=サーンスが創設した国民音楽協会に加わりましたが(同じころオーバン、ボザ、メシアンなども)、当時保守的だった協会では、会長のブレヴィルなどには最も前衛を推進する者と思われたようです。この作品を現代の目で見れば、非常に保守的に見えますし、ギターにあった曲想と、バランスのよい4楽章構成の作品と思えます。

ムラエルト:組曲(1926)[ジラルディーノ&ビスカルディ編]

¥5,145

プレルディオ/間奏曲/パッサカリア

レーモン・オーギュスト・マリ・ムラエルト(1875~1962)はベルギーの作曲家・ピアニスト・音楽学者・教授で、ブリュッセルで生まれ同地の王立音楽院においてピアノ、和声学、対位法、フーガ、楽器法・管弦楽法を学びました。彼は古楽の復興のパイオニアであり、フランスの出版社のリュリの楽譜出版にも参加しています。一方同世代の作曲家、特にフォーレやドビュッシーの崇拜者でもありました。この組曲が発見されるまでは、彼のギター曲は1年後に作曲された13分ほどの『3つのフランドル民謡による狂詩曲』だけとされていました。セゴビアによる演奏の記録はありませんが、マニュスクリプトにはセゴビアの運指が書き込まれており、演奏しようと思っていたことは確かなようです。それだけの価値がある作品です。

モレノ=トローバ:ソナタ=ファンタシア

¥2,520

フェデリコ・モレノ=トローバ(1891~1982)は、20世紀スペインの音楽シーンにおいて、『レイサ・フェルナンダ』をはじめとするサルスエラとクラシカル・ギター音楽において代表的な存在です。特にセゴビアとは音楽的相性がよく、彼の音楽性が最も発揮される作曲家はこの人といっても過言ではないでしょう。小品が多いこの作曲家のギター作品において、いくつかの協奏曲を除けば、『ソナティナ』くらいの規模があり、決して忘れられてはいけな作品だと思われます。(セゴビアが弾かなかった理由をジラルディーノは想像していますが…) サインズ・ビジェガスのCD(NAXOS盤)が世界初録音で、益田正洋が日本初演をしています。

モンボウ:賢王アルフォンソX世の2つの頌歌による歌と踊り BS

¥2,205

周知のようにフェデリコ・モンボウ・イ・ダンコセ(1893~1987)は、カタルーニャ人の父と、フランス人の母の間に生まれたカタルーニャの作曲家です。彼の作品はほとんどがピアノのためのものです。ギターのためには、20世紀ギター音楽中最も美しい作品の一つと言っていい『コンポステラ組曲』と、民謡『鳥の歌』を使用した『歌と踊り No.13』が知られていましたが、ここに自身の編曲による『歌と踊り No.10』(原曲:ピアノ、合唱版もあり)が発見され、出版されたのは大きな喜びです。13世紀に王が編纂した『聖母マリア頌歌集』からとられた2つの旋律は、まことにギターに相応しいといえましょう。

モンボウ:コンポステラ組曲 BS

¥4,830

プレルディオ/コラル/子守歌/レチタティーヴォ/歌/ムニエイラ

編集者のジラルディーノは、このモンボウのマニュスクリプトに忠実な出版は、唯一の出版物であったサラベール社のセゴビア版を捨て去るためのものではないと断言していますが、この曲を演奏するときにはモンボウの意図の反映したこの版を参照することが求められるかもしれません。どちらを選択するかは奏者に委ねられるにしろ、セゴビア版には相当な小節の削除や音の変更が認められます。

ラバラ:画集(スペインの風景)

¥2,100

カスティージャの村/アラゴンにて/魔術

ラウル=ルイ=フェリクス=エミル=マリ・ラバラ(1876~1943)は、イタリア系のフランス人で、早くから楽才をあらわし5歳で歌を作曲しています。パリ音楽院で、ディエメル、フォーレ、マスネ他に師事し、コレと同じようにスペインに大変惹かれ、やはりスペイン音楽のオーソリティになりました。その後友人のラヴェルも応募した「ローマ大賞」で1位を得ました。ラヴェルはその後も落選しましたが、ラバラへの尊敬は保ったということです。ラバラは最初歌劇で成功しましたが、スペインの語法を使った歌曲や器楽曲も作曲しています。詳しくは書けないので解説をお読みいただくしかないので、マニュスクリプトが見つかったのは1曲目のみなので、ラバラ自身のもの、後々の2曲はジラルディーノがピアノ版から編曲したものです。